

雑司が谷旧宣教師館だより

第4号

1997年 7月10日発行

東京都豊島区雑司が谷1-25-5

☎FAX(03)3985-4081



マッケーレブ愛用の机 アメリカより届く！

5月28日、カリフォルニア在住の永井道夫・ロレイン夫妻より寄贈していただいた、マッケーレブ愛用のライティングデスクが、横浜経由で旧宣教師館に届きました。

マッケーレブの秘書をしていたロレイン夫人より雑司が谷にあるマッケーレブの記念館に、是非寄贈したいというご依頼が、野垣氏（カリフォルニア在住）を通して茨城県の新国良明氏のもとに寄せられました。

昨年暮に繁国氏よりお手紙で、その旨を知らせていただきました。当館には、マッケーレブが使っていた家具等は1つもありませんでしたので、早速大喜びで頂きたいと、繁国氏にご返事しました。

ところが、1つだけ問題があったのです。運送代です。その机はとっても華奢でした。気をつけないと脚が折れてしまいそうです。ただ船便で送ってもらうという訳にはいきません。名家が浮かばず、時間がどんどん過ぎていきます。一方で、依頼を受けた繁国氏は、考えあぐねている私共より、実に親身に奔走してくださいました。

そして、外国関係の運送会社をしているご友人、鏡氏のアイデアで、個人の引越越し荷物に付けて送ることが最良の方法ということが分かりました。

5月、カリフォルニアの永井夫妻の近隣の方が、日本に引越すことになり、机は20日頃横浜に到着するという連絡が、鏡氏より入りました。

横浜税関を通過して、5月28日、マッケーレブ愛用の机は速に、ここ旧宣教師館に届けられました。堅固に梱包され、台車に載せられて運ばれたきた荷物を見た時、これまでのたくさんの方々のご支援とご好意を一時に思い出し、感慨無量でした。

現在、机は旧宣教師館裏の事務棟1Fの収蔵庫で蟻害（虫やがびを防止する）を終えたところで、

間もなく本館1Fの、「マッケーレブの生活のコーナー」に設置します。

最後になりましたが、今回の「マッケーレブ宣教師愛用の机の寄贈」に関して、ご協力いただきました方々のお名前を、ここにご紹介します。

永井道夫・ロレイン夫妻（寄贈者）野垣久美氏（永井氏友人、日本への仲介）ジョン・サリバン氏（カリフォルニアの運送業者、机を梱包して横浜まで届けてくださいました）鏡謙次氏（横浜から雑司が谷まで届けてくださいました）、そして繁国良明氏です。本当にありがとうございました。



雑司が谷文化マップ（仮称） の作成について

7月10日（木）文京区主催の施設見学会があり、約80名の文京区民が、ここ旧宣教師館にいらっしゃいます。当日のコースは、旭山記念館やオルゴール博物館等の護国寺界隈から、鬼子母神などの雑司が谷方面で旧宣教師館もコースに選んでいただきました。

かねてより旧宣教師館でも、ここを拠点として半径約2キロ位で、歩いて散策できるところ（区境は無関係とする）の文化マップを作成し、来館する人々への情報提供と、もっとたくさんの区民の方に、この豊島区の文化財である雑司が谷旧宣教師館を知っていただくという計画しておりました。

「是非ここを入れてほしい！」「私のとおきおきの散歩コース」等々お寄せください。今年度中募集して平成11年1月26日の「旧宣教師館開館10年」にむけてマップを作成予定です。アンケートの箱に入れてくださるか、出来れば直接私どもにお教えください。お待ちしております。

来館者の声

♡6. 12の話 (小学2年生の女の子)

「おじちゃん! (当館の職員にこう呼びかけた) 宣教師館って、ブルーベリーを摘ましてくれるんだよね。この前、友達と来て、ブルーベリーとったんだよ。(去年の事らしい) 家に帰ってジャム作ったんだよ。とっってもおいしかった!」(本当においしそう。)(昨年申し込んでくれた女の子、今年のブルーベリーの成長ぶりを観察にきてくれました。今年も豊作が期待できそうです。) 右上へ→

♡建物の、庭もきれいに管理されていて、ご苦労様です。ありがとうございました。心がなごみ、すばらしい一時を過ごしました。老夫婦より。(葉巻、広報としまを見て、60代男女、初めて、都電、5.29)

♡偶然立ち寄ったけれど、明治、大正、昭和の激動に生きた外国人に感銘を受けた。(都内、ポスター、20代男、初めて、JR池袋より 5. 24)

♡古い建物を保存するのは、とても大事な事だと思います。(浦安、コーヒーやさんのマスターから、30代女、初めて、5. 5)

お知らせ

「雑司が谷1日宣教6市宣館で遊ぶ - Part II - 自然を満喫する!! ブルーベリー摘み & 草木染め」

旧宣教師館の中庭には、大小合わせて約30本のブルーベリーの木があります。これらの木を活用して、子どもたちに収穫の喜びを体験してもらおうと共に、その実をジャムなど保存食として利用していたマッカーレブの生活や、当時の地域の歴史と文化に触れてもらいます。

また、何十種類もの草木が植えてある旧宣教師館の庭は、1年中花が絶えることがありません。それらの花々、木の根や葉を用いて染色を体験し、子どもたちに、身近な自然に関心をもってもらえたらと企画しました。(和紙を染めます)

日 時: 1回目 7月30日(水) 午前10時~12時
2回目 8月6日(水)

場 所: 雑司が谷旧宣教師館中庭

対 象: 区内の小学生

定 員: 各 回 > 8名

参加費用: 無 料

申 込: 電話による先着順(当館まで)

受 付: 7月25日(金) から受付(午前9時~午後4時30分) ☎(3985) 4081

月曜日休館

※広報としま7月25日号に掲載し、募集します。

(旧宣教師館のブルーベリー、"知る人ぞ知る" 隠れた人気があるのです。ご予約待ってます。)

♡ 花ごよみ ♡

うとうしい梅雨の季節になりました。旧宣教師館に庭には今、ブルーベリー木が鈴なりに実をつけて、可愛らしく風に揺れております。

1号より、大王松・西洋梨・コリの木とマッカーレブさんが持ってきた木について紹介してきましたが、今回のブルーベリーで最後になります。

ブルーベリー

科 名 ツツジ科・落葉低木

花 期 4 ~ 5月

実熟期 7 ~ 8月

適 地 照植質に富む日向

原産地 北米

実 大きさ約1.5 g 扁円形



ブルーベリーの仲間には、8種類くらいあり、旧宣教師館にあるのは、ハイブッシュブルーベリーです。晩春につく鐘状の小花をひらき、夏から秋にかけて熟します。青色から黒色になり、表面は白い粉でおおわれて甘味が多く、酸味も適当にあって、独特の風味があります。秋の美しく紅葉した葉も見応えがあります。ぜひ訪れてください。(反り日記)

編集後記 昨年、0157を懸念して、ブルーベリー作りを断念しました。今年もするんですかと、実が色付く前から問い合わせがありました。約300坪の敷地の小さな庭ですが、昨年は25名の小学生が小籠を手実を摘みました。郷土でできる僅かなことですが、積み重ねていくことが大切だと思っています。(浜地記)